

『季節の宅配便』

肥料の御三家、N・P・Kとは？

みなさんは植物の肥料について、どのくらいご存じですか？

植物の生長には必要不可欠な肥料要素(多量要素・中量要素・微量元素)が存在すると考えられています。3回にわたって、それぞれの要素と働きについて説明します。まずは多量要素(N・P・K)のおはなしです。

第1回：植物の生長に欠かせない肥料の多量要素(N・P・K)！

N 窒素(チツ)

葉や茎の生長を促す成分。窒素が不足すると、葉の黄化や植物自身の生育が衰える。

P リン酸

細根、花芽、種子形成を促す成分。リン酸が不足すると、果実の品質低下などの原因となる。

K カリウム

根の発育や果実への糖の蓄積を促す成分。また、寒さに対する抵抗力を高める働きもある。

チェック!

肥料に書いてある8-8-8などの数字はそれぞれN-P-Kの含有割合(%)を表している。



窒素、リン酸、カリウムがそれぞれ8%ずつ入っているという意味。

